

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）						
教科		科目	単位数	履修上の留意点		
数学		数学Ⅰ	4	数学Ⅰ→数学Ⅱ		
指導目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表す。式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。					
	教科書		副教材等		添削指導	面接指導
	新数学Ⅰ				12回	4単位時間
	多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無		☐ 実施している ☒ 実施していない	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数		該当なし
	添削指導（レポート）					
回	学習内容				対応する 面接指導の回	提出期限
1	中学校までの復習を兼ねた整数の計算				1	5月18日
2	中学校までの復習を兼ねた小数・分数の計算、それらの計算の利用				1	5月18日
3	正負の数の計算				1	5月18日
4	文字と式について				2	7月3日
5	実数について				2	7月3日
6	方程式と不等式				2	7月3日
7	2次関数とそのグラフについて				3	10月22日
8	2次関数の値の変化				3	10月22日
9	鋭角の三角比				3	10月26日
10	三角比の応用				4	12月7日
11	データの分析				4	12月7日
12	集合と論証				4	12月7日
面接指導(スクーリング)						
回	単位時間	学習内容			実施場所	実施日
1		中学校までの計算の復習			各学習センター	4月
2		文字と式を理解させる。方程式と不等式を理解させる。			各学習センター	6月
3		1次関数の復習と2次関数について理解させる。			各学習センター	10月
4		三角関数を理解させる、データの分析の仕方を理解させる、集合と論証について理解させる。			各学習センター	12月
多様なメディアを利用した学習						
計画段階では実施予定なし						
試験						
回数	試験範囲				実施場所	実施日
1	レポート1～6				各学習センター	9月
2	レポート7～12				各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準						
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。 所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。						
その他						
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。						